

豊田圭一氏が協会事務所をご訪問

穴戸 和郎

遠く地球の反対側であるアルゼンチンに係わりのある人物や事柄と、ひょんなことからご縁が出来る。アルゼンチン協会の会員であることの醍醐味を感じる瞬間です。

そんな機会があったのが、去る 9 月 17 日（木）の午後でした。この日、故豊田潤一氏（元三菱商事アルゼンチン社長、元協会理事）のご子息、豊田圭一氏が港区大門の協会事務所を訪問されました。圭一氏ご自身も現地に滞在され日本人学校にも通われていた由です。当協会の賛助会員でもあられます。

同氏は会社経営の他、多方面で活躍されていますが▲、この程同氏の著書がアルゼンチンで出版されたということで、協会に寄贈するべくわざわざ事務所まで足を運ばれました。武道や禅をベースに「無心」というテーマで著わされたものです※。

当日は、協会の業務運営委員会が次に予定されていたので事務所に委員会のメンバーが集まってきましたが、豊田氏と邂逅して、「御父上を知っている」「ブエノスで一緒だった」「現地であなたと子供時代に会っている」と、当時を懐かしみ、話しの輪が広がりました。協会ならではの交歓風景でした。



業務運営委員会の面々と。前列向かって右端が豊田圭一氏。

（ししど かずろう：当協会常務理事）

▲ 以下サイトをご欄下さい。 <https://www.keiichi-toyoda.com/>

※アマゾンで購入できるようです。 <https://amzn.to/4y4nfga>

スペイン語以外にイタリア語とスロバキア語でも出版されている由です。